

平成28年度下半期

(平成28年10月1日から平成29年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工 業 用 水 道 事 業

地 域 振 興 事 業

県 立 病 院 事 業

宮 崎 県

平成28年度下半期

(平成28年10月1日から平成29年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工業用水道事業

地域振興事業

宮崎県企業局

目 次

電気事業の業務状況

1 事業の概況	1 頁
2 経理の状況	2 "
3 資産・企業債及び借入金の現在高	5 "
4 平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要	7 "

工業用水道事業の業務状況

1 事業の概況	8 "
2 経理の状況	9 "
3 資産・企業債及び借入金の現在高	12 "
4 平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要	13 "

地域振興事業の業務状況

1 事業の概況	14 "
2 経理の状況	15 "
3 資産・企業債及び借入金の現在高	18 "
4 平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要	19 "

電気事業の業務状況

電気事業の平成28年度下半期の業務状況と平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、6つの河川総合開発事業等により建設した14発電所において発電を行い、電気を供給しています。

平成28年度下半期は、降雨に恵まれるとともに効率的な発電に努めた結果、供給電力量は1億5,253万kWh余で、目標に対する達成率は102.7%、また、電力料金収入は22億3,720万円余で、目標に対する達成率は101.5%となりました。

(1) 供給電力量

(単位：千kWh)

月別	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				28年度 (B/A)	27年度
10月	33,704	49,554	15,850	147.0%	43.6%
11月	21,899	24,973	3,074	114.0%	87.1%
12月	17,625	18,296	671	103.8%	274.1%
1月	15,385	20,587	5,202	133.8%	130.1%
2月	20,629	16,707	△ 3,922	81.0%	186.2%
3月	39,290	22,422	△ 16,868	57.1%	109.1%
下半期計	148,532	152,539	4,007	102.7%	—
前年度下半期計	143,817	179,558	35,741	—	124.9%

(2) 電力料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				28年度 (B/A)	27年度
基本料金 (定額料金)	2,017,729	2,045,069	27,340	101.4%	100.0%
電力量料金 (従量料金)	187,183	192,133	4,950	102.6%	123.5%
下半期計	2,204,912	2,237,202	32,290	101.5%	—
前年度下半期計	2,062,962	2,100,172	37,210	—	101.8%

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	24	84	0	108	0
前年度下半期	25	83	0	108	0

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

2 経理の状況

収益的収入については、附帯事業収益が減となったものの、営業収益の増等により、事業収益の収入率は103.4%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は90.3%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	4,650,247	4,753,056 (2,242,839)	102,809	102.2%
附帯事業収益	35,475	34,978 (30,692)	△ 497	98.6%
財務収益	240,916	257,218 (92,203)	16,302	106.8%
営業外収益	154,835	211,111 (64,071)	56,276	136.3%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	5,081,473	5,256,363	174,890	103.4%
前年度事業収益	4,778,110	4,953,105	174,995	103.7%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	4,380,505	3,963,561 (2,313,112)	1,057	415,887	90.5%
附帯事業費用	39,559	37,945 (28,887)	0	1,614	95.9%
財務費用	91,978	91,973 (43,534)	0	5	99.9%
営業外費用	242,394	242,391 (128,167)	0	3	99.9%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	50,000	0 (0)	0	50,000	0.0%
事業費	4,804,436	4,335,870	1,057	467,509	90.3%
前年度事業費	4,469,711	3,984,409	0	485,302	89.1%

注) () 書きが下半期分で内数です。

(2) 資本的収入及び支出 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

ア 収入

(消費税込み 単位:千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
工事負担金	0	2,037 (2,037)	2,037	-
固定資産売却代金	1	2,665 (2,665)	2,664	266,500.0%
貸付金返還金	726,071	726,072 (726,072)	1	100.0%
雑収入	0	379 (379)	379	-
資本的収入	726,072	731,153	5,081	100.7%
前年度資本的収入	2,730,308	2,722,757	△ 7,551	99.7%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位:千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	1,350,308	764,818 (722,159)	270,031	315,459	70.8%
企業債償還金	534,352	534,351 (268,884)	0	1	99.9%
繰出金	1,000,000	1,000,000 (0)	0	0	100.0%
雑支出	14	10 (10)	0	4	71.4%
予備費	100,000	0 (0)	0	100,000	0.0%
資本的支出	2,984,674	2,299,179	270,031	415,464	84.7%
前年度資本的支出	4,529,173	3,383,025	384,768	761,380	81.6%

注) () 書きが下半期分で内数です。

ウ 主な改良工事の概況 (改良工事費 1,000万円以上)

平成28年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・日南ダム発電所建設工事のうち水車発電機その他機器据付工事 254,888 千円
- ・渡川発電所取付道路工事 (その1) 69,484 千円
- ・日南ダム発電所建設工事のうち土木工事 59,525 千円
- ・石河内第一発電所同期用遮断器取替工事 41,257 千円
- ・渡川発電所天井クレーン改良工事 38,813 千円
- ・渡川発電所発電設備一括更新工事実施設計業務 32,097 千円
- ・三財発電所直流電源装置取替工事 20,993 千円
- ・渡川発電所取付道路工事 (その2) 18,105 千円
- ・立花発電所管理用道路落石防止網設置工事 17,245 千円
- ・古賀根橋ダム放流ゲートワイヤーロープ取替ほか1件工事 13,162 千円
- ・酒谷発電所総制システム取込業務委託 12,204 千円
- ・猿瀬発電所除塵機制御装置更新ほか1件工事 11,943 千円
- ・石河内第一発電所ほか基地局無線装置更新工事 11,835 千円

(3) 損益計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収益の部は、電力料等により、49億197万円余となり、費用の部は、40億3,736万円余となった結果、8億6,460万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	4,901,972 (2,261,746)	
営業収益	4,402,186 (2,077,587)	電力料など
附帯事業収益	32,387 (28,419)	
財務収益	257,218 (92,202)	
営業外収益	210,181 (63,538)	
特別利益	0 (0)	

費用の部	4,037,364 (2,330,682)	
営業費用	3,874,573 (2,238,362)	
附帯事業費用	37,676 (28,660)	
財務費用	91,973 (43,534)	
営業外費用	33,142 (20,126)	
特別損失	0 (0)	

当年度純利益	864,608	
その他未処分利益剰余金変動額	157,930	
当年度未処分利益剰余金	1,022,538	

注) () 書きが下半期分で内数です。

(4) 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	31,749,499	固定負債	3,721,694
電気事業固定資産	17,840,572	建設改良企業債	2,107,475
附帯事業固定資産	879,978	リース債務	19,283
事業外固定資産	147,890	引当金	1,577,903
固定資産仮勘定	373,813	雑固定負債	17,033
投資その他の資産	12,507,246	流動負債	3,979,381
流動資産	21,762,253	建設改良企業債	477,954
現金及び預金	955,781	リース債務	6,070
未収金	426,112	引当金	63,939
貯蔵品	2,118	未払金	601,155
短期投資	20,378,242	未払費用	541,325
		預り金	8,938
		雑流動負債	2,280,000
		繰延収益	956,217
		長期前受金	2,042,954
		長期前受金収益化累計額	△ 1,086,737
		負債合計	8,657,292
		資本金	27,389,494
		固有資本金	265
		繰入資本金	34,388
		組入資本金	27,354,841
		剰余金	12,920,239
		資本剰余金	321,823
		利益剰余金	12,598,416
		評価・換算差額等	4,544,727
		その他有価証券評価差額金	4,544,727
		資本合計	44,854,460
資産合計	53,511,752	負債資本合計	53,511,752

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成29年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容		
電気事業固定資産	17,840,572	水力発電設備	15,796,794	
		送電設備	726,699	
		業務設備	1,317,079	
附帯事業固定資産	879,978	小水力発電設備	781,414	
		太陽光発電設備	98,564	
事業外固定資産	147,890	有形固定資産	93,613	
		分収林	54,277	
固定資産仮勘定	373,813	建設仮勘定	373,813	
投資 その 他の 資産	長期投資	8,193,720	株式	4,549,934
			出資金	9,160
			長期貸付金	3,634,626
	基金	4,313,332	減債基金	2,585,429
			濁水等欠損準備基金	150,000
			特別修繕基金	997,899
			退職給付基金	580,004
	その他資産	194	長期前払金	194
	現金及び預金	955,781	当座預金	655,781
			定期預金	300,000
未収金	426,112			
貯蔵品	2,118			
短期投資	20,378,242			
合 計	53,511,752			

(2) 企業債

平成29年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

ア 投資先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

投資先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業債	37,629,175	35,043,746	2,585,429	
川原発電所	7,415	7,415	0	
石河内第二発電所	9,885	9,885	0	
石河内第一発電所	3,248,875	3,198,711	50,164	
渡川発電所	4,051,000	3,952,029	98,971	
綾第一発電所	7,314,000	6,933,300	380,700	
綾第二発電所	4,056,000	3,955,082	100,918	
立花発電所	2,403,000	2,376,568	26,432	
三財発電所	2,328,000	1,916,063	411,937	
岩瀬川発電所	3,091,000	2,984,947	106,053	
祝子発電所	3,638,000	3,638,000	0	
上祝子発電所	1,327,000	1,044,652	282,348	
田代八重発電所	2,942,000	1,987,955	954,045	
浜砂発電所	1,436,000	1,338,889	97,111	
設備近代化	1,777,000	1,700,250	76,750	
公共事業債	12,000	12,000	0	
投資債	1,214,200	1,214,200	0	
災害債	20,000	20,000	0	
合計	38,875,375	36,289,946	2,585,429	償還率 93.3%

イ 借入先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	14,964,404	14,087,272	877,132	
総務省	4,119,300	4,119,300	0	
地方公共団体金融機構	16,916,000	15,207,703	1,708,297	
宮崎銀行	1,986,620	1,986,620	0	
鹿児島銀行	383,000	383,000	0	
みずほ銀行	131,000	131,000	0	
農林中央金庫	288,000	288,000	0	
一般公募等	87,051	87,051	0	
合計	38,875,375	36,289,946	2,585,429	償還率 93.3%

(3) 一時借入金

平成29年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成29年3月31日現在、他会計からの借入金はありません。

4 平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については経営基盤の強化と供給信頼性の向上に努め、電力の安定供給を図るとともに、公営企業として健全経営の維持と地域貢献の充実を積極的に推進します。

(2) 業務予定量

水力発電に係る年間供給電力量を計上しており、料金収入は昨年度に比べ1億197万円余の増を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	平成29年度	平成28年度	前年度比
年間供給電力量 (目標)	千kWh 503,095	千kWh 501,591	100.3%
料金収入 (目標)	千円 4,707,861	千円 4,605,888	102.2%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業外収益の減等により、昨年度に比べ3,203万円余の減、事業費は、修繕費の増等により1億4,257万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は1億1,031万円余(対前年度比61.3%減)を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	5,049,442	5,081,473	△ 32,031	営業外収益の減
	事業費	4,939,124	4,796,553	142,571	修繕費の増
	収支残	110,318	284,920	△ 174,602	
資本的 収支	資本的収入	673,290	726,072	△ 52,782	貸付金返還金の減
	資本的支出	2,864,258	2,361,851	502,407	建設改良費の増
	収支残	△ 2,190,968	△ 1,635,779	△ 555,189	

※ 資本的収支の不足額 2,190,968千円は、地方振興積立金等で補てんする予定。

5 むすび

以上が、電気事業の平成28年度下半期の業務状況と平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、本県の豊かな水資源を生かした水力発電や再生可能エネルギー導入の取組などを通して、本県の産業経済の振興と住民の福祉の増進に寄与してまいります。

工業用水道事業の業務状況

工業用水道事業の平成28年度下半期の業務状況と平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、細島工業団地に工業用水を供給する目的で、昭和39年10月から給水を開始しており、給水能力は日量 125,000m³で、現在13社に給水を行っています。

平成28年度下半期は、常時使用水量が 1,010万m³余と目標に届かなかったことから、達成率は97.7%、給水料金収入は1億 6,406万円余で、目標に対する達成率は99.0%となりました。

(1) 給水状況

(単位：千m³)

月 別	基本使用水量	常時使用水量					未達水量
		目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率		
					28年度 (B/A)	27年度	
10月	3,068	1,761	1,725	△ 36	98.0%	94.5%	1,343
11月	2,957	1,705	1,666	△ 39	97.7%	94.4%	1,291
12月	3,043	1,761	1,721	△ 40	97.7%	94.3%	1,322
1月	3,043	1,762	1,721	△ 41	97.7%	94.3%	1,322
2月	2,749	1,591	1,554	△ 37	97.7%	94.4%	1,195
3月	3,044	1,762	1,721	△ 41	97.7%	86.8%	1,323
下半期計	17,904	10,342	10,108	△ 234	97.7%	—	7,796
前年度下半期計	18,100	10,453	9,731	△ 722	—	93.1%	8,369

※平成28年度年間常時使用水量(目標) 20,741千m³

(2) 給水料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区 分	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率	
				28年度 (B/A)	27年度
常時使用水量分	116,165	113,543	△ 2,622	97.7%	93.8%
未達水量分	49,629	50,519	890	101.8%	109.8%
下半期計	165,794	164,062	△ 1,732	99.0%	—
前年度下半期計	166,802	164,335	△ 2,467	—	98.5%

※料金単価 基本料金：10.4円/m³、未達料金：6.0円/m³、超過料金：20.8円/m³
常時使用水量分の実績には超過料金分を含みます。

(3) 職員の状況

(単位：人)

区 分	事 務 職	技 術 職	その他職員	職 員 計	うち再任用職員
下半期	0.9	6	0	6.9	0
前年度下半期	0.9	6	0	6.9	0

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

※各年度とも事務職の0.9人は地域振興事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業収益が減となったものの、営業外収益の増により、事業収益の収入率は 100.5%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は87.6%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	334,520	331,846 (164,617)	△ 2,674	99.2%
営業外収益	66,452	71,207 (26,134)	4,755	107.2%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	400,972	403,053	2,081	100.5%
前年度事業収益	391,121	393,335	2,214	100.6%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
営業費用	364,921	326,915 (219,324)	38,006	89.6%
営業外費用	12,968	12,965 (6,935)	3	99.9%
特別損失	0	0 (0)	0	—
予備費	10,000	0 (0)	10,000	0.0%
事業費	387,889	339,880	48,009	87.6%
前年度事業費	388,309	317,462	70,847	81.8%

注) () 書きが下半期分で内数です。

(2) 資本的収入及び支出（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
資本的収入	0	0	0	-
前年度資本的収入	653,000	653,000	0	100.0%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
建設改良費	33,767	27,179 (26,954)	6,588	80.5%
企業債償還金	10,339	10,338 (5,225)	1	99.9%
借入金償還金	160,104	160,104 (160,104)	0	100.0%
予備費	366	0 (0)	366	0.0%
資本的支出	204,576	197,621	6,955	96.6%
前年度資本的支出	835,745	815,710	20,035	97.6%

注) () 書きが下半期分で内数です。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

平成28年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・工業用水道施設 高速凝集沈殿池設備更新設計業務 21,003千円
- ・工業用水道施設 屋外変電所避雷器取替工事 5,951千円

(3) 損益計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収益の部は、給水収益等により3億7,858万円余となり、費用の部は、3億1,742万円余となった結果、6,115万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	378,588 (178,558)	
営業収益	307,381 (152,424)	給水収益など
営業外収益	71,207 (26,134)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	317,429 (211,243)	
営業費用	316,063 (210,616)	
営業外費用	1,366 (627)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	61,159	
その他未処分利益剰余金変動額	126,443	
当年度未処分利益剰余金	187,602	

注) () 書きが下半期分で内数です。

(4) 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	2,180,411	固定負債	2,280,830
有形固定資産	2,155,391	建設改良企業債	18,689
無形固定資産	5,424	建設改良他会計借入金	1,020,000
固定資産仮勘定	19,447	その他の他会計借入金	1,191,225
投資その他の資産	149	引当金	50,916
流動資産	2,171,662	流動負債	176,525
現金及び預金	72,347	建設改良企業債	8,519
未収金	28,455	建設改良他会計借入金	60,000
貯蔵品	860	未払金	31,782
雑流動資産	2,070,000	未払費用	55,080
		預り金	2,516
		引当金	18,628
		繰延収益	482,929
		長期前受金	844,616
		長期前受金収益化累計額	△ 361,687
		負債合計	2,940,284
		資本金	314,085
		固有資本金	2,906
		組入資本金	311,179
		剰余金	1,097,704
		資本剰余金	1,170
		利益剰余金	1,096,534
		資本合計	1,411,789
資産合計	4,352,073	負債資本合計	4,352,073

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成29年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容
有形固定資産	2,155,391	土地 11,913
		建物 110,435
		構築物 1,882,384
		機械及び装置 150,054
		備品 605
無形固定資産	5,424	電話加入権 569
		ソフトウェア 4,855
固定資産仮勘定	19,447	建設仮勘定 19,447
投資その他の資産	149	出資金 140
		長期前払金 9
現金及び預金	72,347	当座預金 72,347
未収金	28,455	
貯蔵品	860	
雑流動資産	2,070,000	
合計	4,352,073	

(2) 企業債

平成29年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	177,000	164,277	12,723	
総務省	455,000	455,000	0	
地方公共団体金融機構	780,000	765,515	14,485	
宮崎銀行	717,000	717,000	0	
合計	2,129,000	2,101,792	27,208	償還率 98.7%

(3) 一時借入金

平成29年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成29年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
一般会計	1,746,606	1,746,606	0	
電気事業会計	2,924,405	653,180	2,271,225	
合計	4,671,011	2,399,786	2,271,225	償還率 51.4%

4 平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、工業用水の安定供給に努め、県北地域の経済振興に寄与していくとともに、更なる経営の安定化を図るため、引き続き費用抑制に努めます。

(2) 業務予定量

年間総給水量は、13社との契約水量を踏まえ 3,583万 m^3 余としています。料金収入は、一部ユーザの常時使用水量が減となることから、前年度に比べ 555万円余の減を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	平成29年度	平成28年度	前年度比
年間総給水量 (目標)	千 m^3 35,835	千 m^3 36,101	99.3%
料金収入 (目標)	千円 326,948	千円 332,500	98.3%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業外収益の減等により昨年度に比べ 2,583万円の減、事業費は修繕費の減等により 2,415万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は 1,189万円余 (対前年度比12.3%減) を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	375,142	400,972	△ 25,830	営業外収益の減
	事業費	363,244	387,401	△ 24,157	修繕費の減
	収支残	11,898	13,571	△ 1,673	
資本的 収支	資本的収入	0	0	0	
	資本的支出	130,896	204,576	△ 73,680	借入金償還金の減
	収支残	△ 130,896	△ 204,576	73,680	

※ 資本的収支の不足額 130,896千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定。

5 むすび

以上が、工業用水道事業の平成28年度下半期の業務状況と平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、健全経営の維持に努め、低廉な工業用水を安定的に供給し、本県の産業振興に寄与してまいります。

地域振興事業の業務状況

地域振興事業の平成28年度下半期の業務状況と平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、一ツ瀬川の河川敷を利用してゴルフ場などを整備し、平成2年11月から営業を行っています。

平成28年度下半期の利用者数は16,757人で、目標に対する達成率は93.6%となりました。

(1) ゴルフコース利用状況

(単位：人)

月別	目標 (A)	実績 (B)			比較 (B-A)	達成率	
		平日	休日	合計		28年度 (B/A)	27年度
10月	3,000	1,663	878	2,541	△ 459	84.7%	112.1%
11月	3,200	1,922	1,074	2,996	△ 204	93.6%	106.1%
12月	3,200	2,051	1,111	3,162	△ 38	98.8%	103.0%
1月	3,100	1,645	971	2,616	△ 484	84.4%	89.1%
2月	2,700	1,973	886	2,859	159	105.9%	102.8%
3月	2,700	1,828	755	2,583	△ 117	95.7%	110.0%
下半期計	17,900	11,082	5,675	16,757	△ 1,143	93.6%	—
前年度下半期計	17,800	12,244	6,222	18,466	666	—	103.7%

※平日の65歳以上の利用者数は 9,590人で下半期全体の57.2%

(2) 施設利用料収入 (納付金)

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				28年度 (B/A)	27年度
下半期計	10,800	10,800	0	100.0%	—
前年度下半期計	10,800	10,800	0	—	100.0%

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	0.1	0	0	0.1	0
前年度下半期	0.1	0	0	0.1	0

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

※各年度とも事務職の0.1人は工業用水道事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業外収益の増等により事業収益の収入率は104.6%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は91.4%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	21,725	21,728 (10,803)	3	100.0%
営業外収益	5,742	6,997 (2,628)	1,255	121.9%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	27,467	28,725	1,258	104.6%
前年度事業収益	24,847	25,962	1,115	104.5%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
営業費用	25,124	22,959 (12,264)	2,165	91.4%
営業外費用	234	209 (208)	25	89.3%
特別損失	0	0 (0)	0	—
予備費	0	0 (0)	0	—
事業費	25,358	23,168	2,190	91.4%
前年度事業費	21,693	18,888	2,805	87.1%

注) () 書きが下半期分で内数です。

(2) 資本的収入及び支出（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
出資金返還金	700	700 (700)	0	100.0%
資本的収入	700	700	0	100.0%
前年度資本的収入	700	700	0	100.0%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
建設改良費	33,021	30,888 (30,888)	2,133	93.5%
借入金償還金	9,968	9,968 (9,968)	0	100.0%
雑支出	10	9 (9)	1	90.0%
予備費	3,000	0 (0)	3,000	0.0%
資本的支出	45,999	40,865	5,134	88.8%
前年度資本的支出	18,394	10,233	8,161	55.6%

注) () 書きが下半期分で内数です。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

平成28年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・ 一ツ瀬ゴルフ場浄化槽改修工事 24,672千円

(3) 損益計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収益の部は、施設利用料等により 2,601万円余となり、費用の部は、2,274万円余となった結果、326万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	26,016 (11,868)	
営業収益	20,128 (10,003)	施設利用料など
営業外収益	5,888 (1,865)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	22,747 (12,104)	
営業費用	22,538 (11,896)	
営業外費用	209 (208)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	3,269	
その他未処分利益剰余金変動額	9,968	
当年度未処分利益剰余金	13,237	

注) () 書きが下半期分で内数です。

(4) 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	678,424	固定負債	753,565
スポーツ・レクリエーション施設	674,903	建設改良他会計借入金	753,033
投資その他の資産	3,521	引当金	532
流動資産	248,170	流動負債	38,249
現金及び預金	30,918	建設改良他会計借入金	9,968
未収金	7,252	引当金	33
雑流動資産	210,000	未払金	24,719
		未払費用	3,529
		繰延収益	1,533
		長期前受金	2,005
		長期前受金収益化累計額	△ 472
		負債合計	793,347
		資本金	75,620
		組入資本金	75,620
		剰余金	57,627
		資本剰余金	5
		利益剰余金	57,622
		資本合計	133,247
資産合計	926,594	負債資本合計	926,594

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成29年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容	
スポーツ・レクリエーション施設	674,903	土地	28,457
		建物	102,483
		構築物	519,009
		機械及び装置	826
		備品	24,128
投資その他の資産	3,521	出資金	3,500
		長期前払金	21
現金及び預金	30,918	当座預金	30,918
未収金	7,252		
雑流動資産	210,000		
合計	926,594		

(2) 企業債

平成29年3月31日現在、企業債の残高はありません。

(3) 一時借入金

平成29年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成29年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業会計	895,000	131,999	763,001	
合計	895,000	131,999	763,001	償還率 14.7%

4 平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上を図っているところであり、引き続き指定管理者と緊密に連携しながら、利用促進に努めてまいります。

(2) 業務予定量

年間利用者数は昨年度目標と同数とし、施設利用料は昨年度と同額を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	平成29年度	平成28年度	前年度比
年間利用者数 (目標)	人 33,500	人 33,500	100.0%
施設利用料 (目標)	千円 21,600	千円 21,600	100.0%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業外収益の減等により昨年度に比べ 290万円余の減、事業費は固定資産除却費の減等により 182万円の減を見込んでいます。その結果、収支残は 103万円（対前年度比51.4%減）を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収 益 的 収 支	事業収益	24,559	27,467	△ 2,908	営業外収益の減
	事業費	23,529	25,349	△ 1,820	固定資産除却費の減
	収支残	1,030	2,118	△ 1,088	
資 本 的 収 支	資本的収入	700	700	0	
	資本的支出	17,254	45,999	△ 28,745	建設改良費の減
	収支残	△ 16,554	△ 45,299	28,745	

※ 資本的収支の不足額16,554千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定。

5 むすび

以上が、地域振興事業の平成28年度下半期の業務状況と平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、幅広く県民に親しまれるゴルフ場をめざし、施設の適切な管理運営など利用者のサービス向上に努め、公共の福祉の増進に寄与してまいります。

平成28年度下半期

(平成28年10月1日から平成29年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

県立病院事業

宮崎県病院局

目 次

県立病院事業の業務状況

1	事業の概況	20	頁
2	経理の状況	21	〃
3	企業債及び借入金の現在高	22	〃
4	平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要	23	〃

県立病院事業の業務状況

県立病院事業の平成28年度下半期の業務状況と平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

平成28年度下半期の事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の概況

平成28年度下半期における利用患者数は、延入院患者数170,739人、延外来患者数181,795人で、前年度同期と比較すると、入院で3,403人減少し、外来で439人増加しています。

ア 延入院患者数（下半期）

（単位：人、％）

病院名	28年度	27年度	増 減	増減率
宮崎病院	72,132	78,251	△ 6,119	△ 7.8
延岡病院	56,373	55,523	850	1.5
日南病院	42,234	40,368	1,866	4.6
計	170,739	174,142	△ 3,403	△ 2.0

イ 延外来患者数（下半期）

（単位：人、％）

病院名	28年度	27年度	増 減	増減率
宮崎病院	84,810	84,221	589	0.7
延岡病院	51,231	51,844	△ 613	△ 1.2
日南病院	45,754	45,291	463	1.0
計	181,795	181,356	439	0.2

(2) 職員の状況

（単位：人）

年度	職種								計
	医 師	薬剤師	診 療 放射線 技 師	臨 床 検 査 技 師	そ の 他 の 医 療 技 術 員	看 護 師	事 務 員		
27年度	194	44	41	53	59	1,057	56	1,504	
28年度	191	47	42	54	65	1,067	59	1,525	
増 減	△ 3	3	1	1	6	10	3	21	

※ 各年度3月31日現在です。また、管理者を除いた数です。

2 経理の状況

(1) 収益的収支（下半期）

平成28年度下半期の収益的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	収 益 (A)				費 用 (B)				差引 A-B
	医業収益	医業外収益	特別利益	計	医業費用	医業外費用	特別損失	計	
宮崎病院	6,146,715	878,734	10,000	7,035,449	6,608,360	250,022	0	6,858,382	177,067
延岡病院	4,615,161	639,315	179,741	5,434,216	4,981,627	346,583	0	5,328,210	106,006
日南病院	2,629,596	467,257	142,025	3,238,879	3,063,118	211,177	0	3,274,295	△ 35,416
計	13,391,472	1,985,306	331,766	15,708,544	14,653,105	807,782	0	15,460,887	247,657

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 資本的収支（下半期）

平成28年度下半期の資本的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

収 入		支 出	
企 業 債	1,597,000	建 設 改 良 費	1,478,434
一 般 会 計 負 担 金	856,794	企 業 債 償 還 金	1,530,219
そ の 他 資 本 収 入	2,850	投 資	2,700
計	2,456,644	計	3,011,353
		収支差引	△ 554,709

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 貸借対照表

平成29年3月31日現在の貸借対照表は、次のとおりです。

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
固定資産	29,918,854	固定負債	23,548,206
流動資産	16,675,875	流動負債	13,191,010
繰延資産	9,956	繰延収益	3,112,427
		負債合計	39,851,643
		資本金	12,743,396
		剰余金	△ 5,990,354
		資本合計	6,753,041
資産合計	46,604,685	負債・資本合計	46,604,685

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

3 企業債及び借入金の現在高

(1) 企業債明細表

平成29年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累 計	
宮崎病院	6,943,000	754,407	2,673,518	4,269,482
延岡病院	23,043,400	1,293,283	11,805,265	11,238,135
日南病院	17,849,700	1,001,123	8,789,290	9,060,410
計	47,836,100	3,048,814	23,268,073	24,568,027

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 一般会計借入金 なし

(3) 一時借入金 なし

4 平成29年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 経営方針

公共の福祉の増進と経済性の発揮との調和を図りながら、本県の中核病院としての医療水準・患者サービスの向上と県民医療の確保を図ることを基本としています。

(2) 年間患者数（目標）

（単位：人）

	29年度目標	28年度予算	増 減
延入院患者数	359,525	357,700	1,825
延外来患者数	372,344	364,500	7,844
計	731,869	722,200	9,669

(3) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

収入

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備 考
病院事業収益	医業収益	入院収益	31,647,447	
		外来収益	26,957,353	
		一般会計負担金	20,293,363	
		その他医業収益	5,721,514	
			564,815	
	医業外収益	受取利息配当金	377,661	
		一般会計負担金	4,090,583	
		一般会計補助金	5,000	
		補助金	2,144,660	
		長期前受金戻入	200,504	
		その他医業外収益	52,793	
			1,570,230	
特別利益		117,396		
		599,511		

支出

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備 考
病院事業費用	医業費用	給与費	31,636,202	
		材料費	30,847,174	
		経費	15,460,560	
		減価償却費	7,866,861	
		資産減耗費	4,737,196	
		研究研修費	2,511,767	
			74,821	
			195,969	
			691,435	
			512,881	
	医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	39,441	
		雑損失	15,000	
		消費税及び地方消費税	8,594	
		繰延勘定償却	115,519	
		長期前払消費税勘定償却	94,593	
特別損失		3,000		
予備費				

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的収入	企業債		3,985,876	
			2,231,900	
	一般会計負担金	企業債	2,231,900	
			1,753,976	
		一般会計負担金	1,753,976	

支出

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的支出	建設改良費		5,489,010	
			2,338,835	
		改築整備費	0	
		改良工事費	761,016	
		資産購入費	1,566,131	
	企業債償還金	リース資産購入費	11,688	
		企業債償還金	3,113,175	
	投資	企業債償還金	3,113,175	
		投資	36,000	
	予備費	投資	36,000	
		1,000		

むすび

県立病院事業の平成28年度下半期の状況と平成29年度の経営方針及び予算の概要は、以上のとおりです。

今後とも本県の中核病院として機能充実と経営健全化に向けた努力を重ねながら、より良い医療サービスの確保に努力してまいります。

